

医療安全いわて公開フォーラム

～いのちをまもるパートナーズ～
についての報告

岩手県医師会
岩 動 孝



フォーラム開催までの経過



従来の岩手県医師会の考え方

医療事故と医療過誤とを分けて考えるという立場。

医療事故・医療過誤を未然に防ぐように努力するが、起きてしまった事故、過誤を医事紛争にならないようにするにはどうしたらよいか、ということに重点が置かれていた。



石川育成会長の著書 (医事紛争回避一口メモ)



医療安全・医療事故等防止講習会開催 (平成21年11月12日開催)



1. 改正医療法施行通知等で規定する医療安全対策の概要
2. 医療安全管理指針（無床診療所・日本医師会）
3. 有床診療所必携 — 医療安全マニュアル —
（全国有床診療所連絡協議会）
4. 日本医師会医師賠償責任保険
（13.6.1 発行 日医雑誌 125 巻 第 11 号付録）
5. 判例から学ぶ
 - ① 医療妨害禁止の仮処分
 - ② 異状死届出の判断基準
 - ③ 事故調査報告書の開示範囲
 - ④ 診療ガイドラインを説明する義務
 - ⑤ カルテの修正・補充の記載の仕方
 - ⑥ 輸血拒否への法的対応
6. 法律用語の基礎知識
 - 医療事故
 - 刑事告訴
 - 異状死体等届出義務
 - 書類送検
 - 医師の診療権・医療権
 - 医業の自由
 - 死因究明
 - カルテ改ざん



岩手県における医療安全研修会

今までに県内7箇所(花巻、水沢、北上、大船渡、釜石、宮古、二戸)で実施した。
医療事故対策・未然防止、医療相談の必要性などを重点的に講習会を行ってきた。



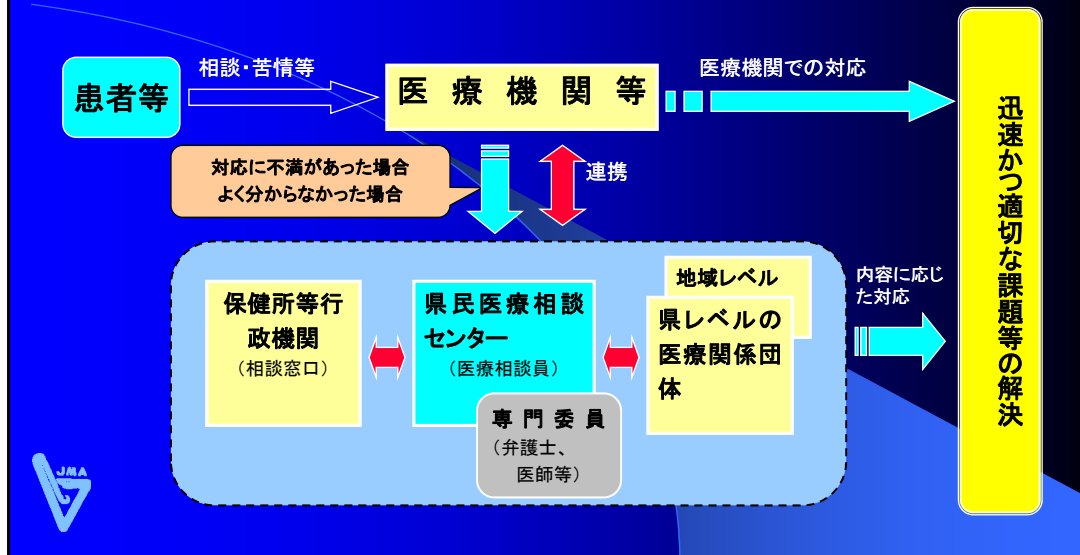
平成20年度 釜石地区医療安全対策研修会

医療安全体制について

岩手県医師会
岩 動 孝



医療総合相談体制概念図



日本医師会では「医療従事者のための医療安全対策マニュアル」、「医療事故削減戦略システム」などを作成



目 次	
I	はじめに..... 2
II	この冊子の構成と使い方..... 3
	1. この冊子の構成..... 3
	2. この冊子の使い方..... 4
III	重点項目別事例から学ぶ医療安全
	(重点項目1) 緊急時の迅速対応..... 6
	(重点項目2) 薬剤の誤投与防止..... 10
	(重点項目3) 採血・注射の安全な実施
	【3-1】採血の安全な実施..... 17
	【3-2】注射の安全な実施..... 19
	(重点項目4) 見落としを防ぐ
	【4-1】不顕性骨折..... 22
	【4-2】モンテジア骨折（左尺骨骨折+橈骨骨頭脱臼）..... 23
	【4-3】乳がん..... 24
	【4-4】大腸がん..... 25
	【4-5】肝臓がん..... 26
	(重点項目5) 検査と処置の安全な実施
	【5-1】検査中の大腸穿孔..... 27
	【5-2】耳垢除去..... 30
	【5-3】チューブ交換・挿入..... 31
	(重点項目6) 手術の安全な実施
	【6-1】白内障手術中合併症..... 33
	【6-2】子宮内容除去術後の子宮穿孔..... 34
	【6-3】犬・猫による咬創後の重篤事例..... 35
	【6-4】肺塞栓症..... 36
	(重点項目7) 感染防止対策..... 38
	(重点項目8) 医療機器の安全な操作と管理..... 39
	(重点項目9) 転倒・転落の防止..... 41
IV	個人で行う医療安全対策
	(個-1) 個人医師の医療安全に対する実施策～医療安全行動指針..... 47
	(個-2) 診療録の記載方法..... 49
	(個-3) タイムアウトの導入と効果..... 51
	(個-4) 診療所におけるインシデントレポート..... 52
V	地域で行う医療安全対策
	(地-1) 地域医師会の医療安全に対する方策～県医師会レベルで動かす仕組み..... 55
	(地-2) コンサルテーションシステム..... 56
	(地-3) 医師対象の相談窓口の設置..... 57
	(地-4) 研修会開催、参加証の授与..... 59

問題点

- Risk Management から Patient Safety へ
- 医療側だけで考えてもダメ。患者側・市民サイドを巻き込む必要がある。
- 盛岡では影響力の大きい有名人は少ないので、一生懸命な姿勢を市民に見せ付けなければならない。
- マスコミにお願いして、CMではなく、記事として扱ってもらおう。(お金がない)
- 一つの団体ではなく、多くの団体での共催が有効である。

岩手県看護協会からの提案

岩手県看護協会からの提案を受けて、岩手県医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、臨床工学士会が集り、平成21年10月2日、10月30日、11月13日の3回にわたり、詳細な打ち合わせ会を行った。



申し合わせ事項

- 特別講演を上原教授にお願いする
- 各団体の会計負担で開催する
- 演者を各団体に受け持つ
- 運営も各団体に協力する
- 出来るだけ廉価にする
- ポスターは手作りとする



市民へのお知らせ

- 岩手県医師会が毎月1回岩手日報に掲載している「お元気ですか」を利用する
- 報道各社に記事として取り上げてもらう
- 会員や従業員に対しては各団体で周知して参加してもらう。



お元気ですか (医師会だより)

2007 お元気ですか 163116
医師会だより

医療安全は、医師・看護師などの医療スタッフだけではなく
患者の皆さん・家族の皆さんといっしょに考えて行かなければなりません。
私たちは、県民・市民の皆様呼びかけて、医療の安全について考えたいと思います。

医療安全 共同行動 いのちをまもるパートナーズ
[公開フォーラム]を開催いたします



● 公開フォーラム ●

医療を提供する方、受ける方、ともに力を合わせて医療事故の防止と信頼される医療の実現を目指す機会とします。

【参加自由】

どなたでも参加できます。
お問い合わせの上
ご来場ください。

(入場無料)

フォーラムに入場の際は、当日は岩手県医師会まで

**いのちをまもる
パートナーズ**

11月28日(土)
● 午後2時～4時30分
● 岩手教育会館ホール

2時～ ■ 基調講演「医療安全全国共同行動「いのちをまもるパートナーズ」がめざすもの」
東北大学大学院医学系研究科教授 上原 晴夫 先生
3時～ ■ シンポジウム「医療安全への取り組み～いのちをまもるパートナーズ～」
医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床工学士

こども救急相談電話

受付時間 / 午後7時～午後11時

019-605-9000

または ☎ #8000

岩手県医師会

〒020-8584 盛岡市東園2丁目8-20 TEL.019-651-1455 FAX.019-654-3589

ホームページアドレス <http://www.iwate.med.or.jp> Eメールアドレス ima00@iwate.med.or.jp

協賛 / 岩手県医師会信用組合、岩手県予防医学協会、JA岩手県厚生連

(11月24日付「岩手日報」へ掲載)



テレビ岩手の取材



テレビ岩手「ニュースプラス1」
(11月25日放送)



手作りのポスター

医療安全いわて公開フォーラム
～いのちをまもるパートナーズ～

【趣 旨】 医療で悩まされるすべての医療・看護従事者、社会を医療者に向けて、理解の広
播を促し、丸となって医療安全対策に取り組み、医療の質向上に貢献することを
目指す。市民と医療従事者が医療安全対策を共有する機会とする。

【日 時】 平成25年11月28日(土) 14時00分～16時00分

【場 所】 岩手県庁第2会議室

【対 象】 医師、看護師、介護職員等 400名

【主 催】 岩手県医師会 岩手県看護協会 岩手県看護協会
岩手県医師会 岩手県看護協会 岩手県医師会 岩手県看護協会

【参加費】 無料

【プログラム】

1) テーマ 「いのちをまもるパートナーズ」
2) 内容

14:00～14:10 開 会
土佐晋代 岩手県医師会 岩手県医師会 岩手県医師会

14:10～14:15 基調講演
講 師：東北大学大学院医学研究科教授 岩手県医師会 岩手県医師会
岩手県医師会 岩手県医師会 岩手県医師会 岩手県医師会
主 題：「いのちをまもるパートナーズ」の意義と役割

14:15～14:30 シンポジウム
主 題：医療安全への取り組み「いのちをまもるパートナーズ」

<シンポジウム>
医 師の立場から 湯近 守一 (岩手県医師会 岩手県医師会)
医 師の立場から 尾玉 淳三 (岩手県医師会 岩手県医師会)
医 師の立場から 岩手 昭子 (岩手県立大学 岩手県立大学)
医 師の立場から 工藤 隆二 (岩手県立大学 岩手県立大学)
医 師の立場から 橋本 謙一 (岩手県立大学 岩手県立大学)

<コーディネーター>
岩手県医師会 岩手県医師会 岩手県医師会

<コメンテーター>
東北大学大学院医学研究科教授 岩手県医師会 岩手県医師会
岩手県医師会 岩手県医師会 岩手県医師会

16:00 閉 会





医療安全全国共同行動2周年記念フォーラム(2010-5-15)
岩勤孝氏(岩手県医師会) (無断転載不可)



医療安全全国共同行動2周年記念フォーラム(2010-5-15)
岩動孝氏(岩手県医師会) (無断転載不可)

テレビ岩手「ニュースプラス1」で報道



(11月28日放送)



医療安全いわて公開フォーラム経費

1. 基調講演講師謝礼・旅費	65,560円 ①
・講師謝礼	50,000円
・旅費(仙台～盛岡間グリーン実費分)	15,560円
2. コピー用紙代	3,900円 ②
・プログラム(@0.6×500部)	300円
・基調講演講師資料(@0.6×6枚組×500部)	1,800円
・基調講演講師略歴(@0.6×500部)	300円
・シンポジスト発表抄録・略歴(@0.6×5枚組×500部)	1,500円
3. リーフレット購入代	25,000円 ③
・医療安全全国共同行動(@50×500部)	25,000円
(いのちをまもるパートナーズ)	
4. 講師用等ペットボトル・紙コップ購入代(7組)	900円 ④
5. 講師用等茶菓代(ケーキセット@650×10個)	6,500円 ⑤
6. 会場使用料(岩手教育会館)	68,840円 ⑥
7. 看板・垂幕代	44,100円 ⑦
8. 振込手数料(3件、岩手銀行)	1,365円 ⑧
合計(①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	216,165円



医療安全いわて公開フォーラム経費

<主催団体の経費負担按分>

・医師会(2,200名)	18.8%	40,600円	→50,000円 +6,165円
・歯科医師会(680名)	5.7%	12,200円	→50,000円
・薬剤師会(病院薬剤師会含む1,800名)	15.2%	32,600円	→50,000円
・看護協会(7,000名)	59.3%	127,300円	→50,000円
・臨床工学技士会(120名)	1.0%	2,100円	→10,000円



今後の展望

岩手県医師会を中心にして医療安全共同行動を実践し、同時に郡市医師会の担当役員に対して、スライドなどを提供して、地域における共同行動を展開してもらうように働きかける。

